

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お問い合わせください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人の危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいたたくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

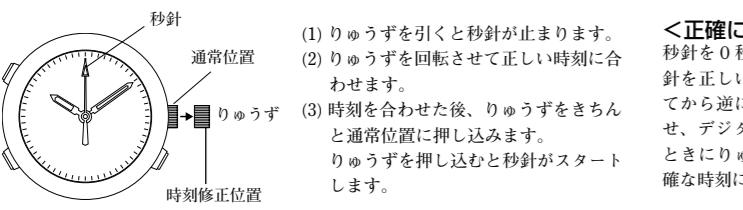
警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

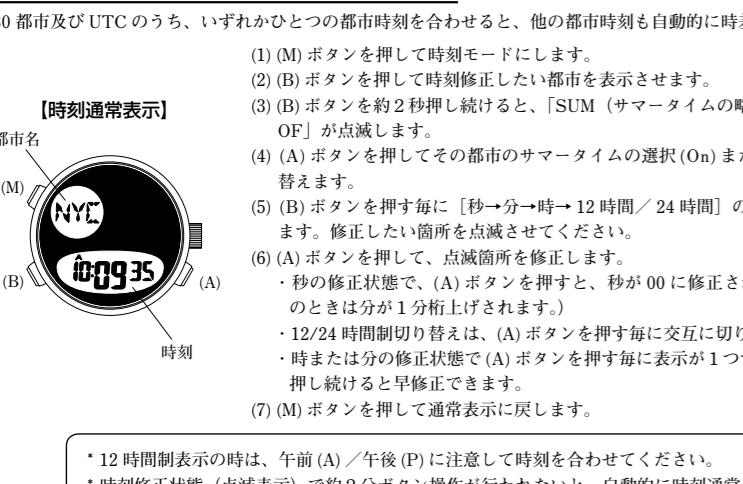
注意 このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■アナログ時刻の合わせ方



- (1) りゅうずを引くと秒針が止まります。
- (2) りゅうずを回転させて正しい時刻に合わせます。
- (3) 時刻を合わせた後、りゅうずをきちんと通常位置に押し込みます。
- りゅうずを押し込むと秒針がスタートします。

■デジタル時刻の合わせ方

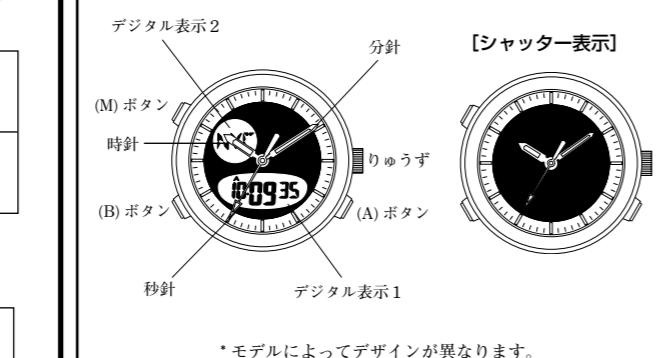


- * 12時間制表示の時は、午前(A)/午後(P)に注意して時刻を合わせてください。
- * 時刻修正状態（点滅表示）で約2分ボタン操作が行わないと、自動的に時刻通常表示に戻ります。
- * 時刻修正状態で(M)ボタンを押すと、すぐに時刻通常表示に戻ります。

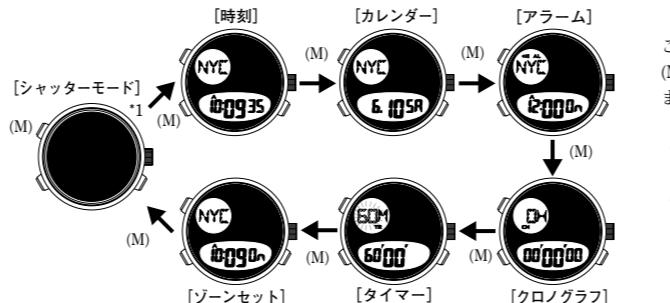
■商品の特徴

この時計は、必要なときにデジタル表示を呼び出して使用することができます。またシャッターモードや、世界30都市及びUTC（協定世界時）の時刻及びカレンダーをボタン操作で簡単に呼び出し表示することができる機能を搭載したコンビネーションクオーツウォッチです。その他、暗いところでも表示が見えるELライト機能を持っています。

■各部の名称



■デジタルの各機能（モード）の切り替え



この時計は、この機能（モード）を持っています。
(M)ボタンを押す毎に図の順でモードが切り替わります。

- * 1：シャッターモードではデジタル表示が全て非表示になります。
- * 2：ゾーンセットモードでは、この時計が表示する30都市及びUTC（協定世界時）について、各都市毎に表示／非表示の設定やサマータイムの設定を行うことができます。

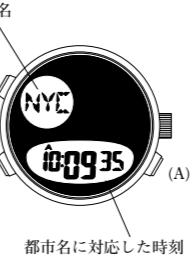
- * 時刻モード、カレンダーモード、アラームモード、ゾーンセットモードで約2分ボタン操作が行わないと、シャッターモードに戻ります。
- * クロノグラフモード及びタイマーモード（計測中を除く）で約10分ボタン操作が行わないと、シャッターモードに戻ります。

■ELライトの点灯方法

- ・時刻モード、カレンダーモード、ゾーンセットモードで(A)ボタンを押すと（または押している間）、ELライトが点灯します。
- ・シャッターモードで(A)ボタンを押すと（または押している間）ELライトが点灯し、時刻モードを表示します。
- ・クロノグラフ計測中にスプリットタイムやストップ操作をすると自動的にELライトが点灯します。

■世界各都市の時刻またはカレンダーの呼び出し方

この時計にあらかじめ登録されている30都市及びUTCの時刻または、カレンダーをボタン操作で簡単に呼び出すことができます。



<操作方法>

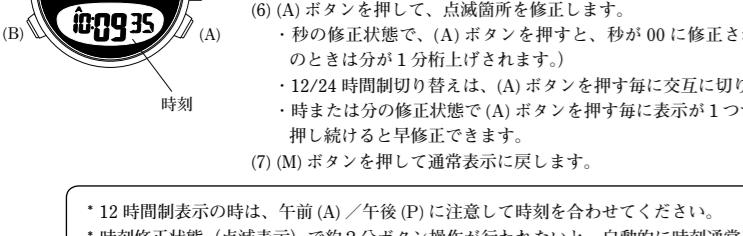
- (1) (M)ボタンを押して時刻モードまたはカレンダーモードにします。
- (2) (B)ボタンを1回押す毎に表の順番（時差が増える方向または時差が減る方向）で次の都市の時刻またはカレンダーを表示します。
- (B)ボタンを押したまま(A)ボタンを同時に押すと、呼び出し順序（時差が増える方向または時差が減る方向）が切り替わります。

- * ゾーンセットモードで非表示(OFF)を選択した都市は表示されません。
- 表中の○印はサマータイムの実施都市（地域）、×印は実施していない都市（地域）を表しています。
- 表の時差、及びサマータイムの実施状況は各国の都合により変更となる場合があります。（表は1999年現在のものです。）

■この時計が表示する都市とUTC（協定世界時）との時差

NO.	時計の表示	都市名	時差	実施	NO.	時計の表示	都市名	時差	実施
1	UTC	協定世界時	±0	—	17	TYO	東京	+9	×
2	LON	ロンドン	±0	○	18	SYD	シドニー	+10	○
3	PAR	パリ	+1	○	19	NOU	ヌメア	+11	×
4	ROM	ローマ	+1	○	20	AKL	オークランド	+12	○
5	CAL	カイル	+2	○	21	HNL	ホノルル	+10	×
6	IST	イスラエル	+2	○	22	ANC	アンカレッジ	-9	○
7	MOW	モスクワ	+3	○	23	LAX	ロサンゼルス	-8	○
8	KWI	ケート	+3	×	24	DEN	デンバー	-7	○
9	DXB	ドバイ	+4	×	25	CHI	シカゴ	-6	○
10	KHI	カラチ	+5	+	26	MEX	メキシコシティ	-6	×
11	DEL	ニューデリー	+5.5	×	27	NYC	ニューヨーク	-5	○
12	DAC	ダッカ	+6	×	28	YUL	モントリオール	-5	○
13	BKK	バンコク	+7	×	29	GCS	カラガス	-4	×
14	SIN	シンガポール	+8	×	30	RIO	リオデジャネイロ	-3	○
15	HKG	香港	+8	×	31	BUE	ベネズエラ	-3	×
16	PEK	北京	+8	×					

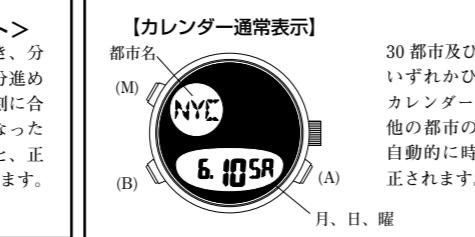
■デジタル時刻の合わせ方



- (1) (M)ボタンを押して時刻モードにします。
- (2) (B)ボタンを押して時刻修正したい都市を表示させます。
- (3) (B)ボタンを約2秒押し続けると、「SUM（サマータイムの略記号）」と「OnまたはOF」が点滅します。
- (4) (A)ボタンを押してその都市のサマータイムの選択(On)または非選択(OF)を切り替えます。
- (5) (B)ボタンを押す毎に「秒→分→時→12時間／24時間」の順で点滅箇所が変わります。修正したい箇所を点滅させてください。
- (6) (A)ボタンを押して、点滅箇所を修正します。
- (7) (A)ボタンを押して通常表示に戻します。

- * 12時間制表示の時は、午前(A)/午後(P)に注意して時刻を合わせてください。
- * 時刻修正状態（点滅表示）で約2分ボタン操作が行わないと、自動的に時刻通常表示に戻ります。
- * 時刻修正状態で(M)ボタンを押すと、すぐに時刻通常表示に戻ります。

■カレンダーの合わせ方



<正確に合わせるポイント>
秒針を0秒位置に止めておき、分針を正しい時刻より4～5分進めでから逆に戻して正しい時刻に合わせます。デジタル時刻が0秒になったときにりゅうずを押し込むと、正確な時刻に合わせることができます。

■アラームの使い方



このアラームは、1度セット(ON)すると、毎日同じ時刻にアラーム音が約15秒間鳴ります。鳴っているアラームなどのボタンを押しても鳴り止みます。

<セットの仕方>

- (1) (M)ボタンを押してカレンダーモードにします。
- (2) (B)ボタンを押してカレンダー修正したい都市を表示させます。
- (3) (B)ボタンを約2秒押し続けると、「月」が点滅し、修正状態になります。
- (4) (B)ボタンを押す毎に「月→日→年」の順で点滅箇所が変わります。修正したい箇所を点滅させてください。
- (5) (B)ボタンを押すと「分」が点滅します。
- (6) (A)ボタンを押して「分」を修正します。
- (7) (M)ボタンを押して通常表示に戻します。

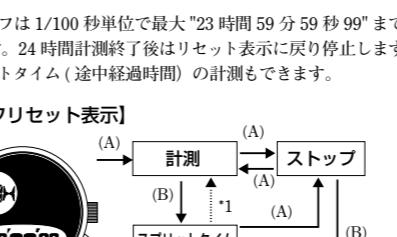
- * 時刻モードが12時間制表示の時は、アラーム時刻も12時間制表示となりますので、午前(A)/午後(P)に注意してセットしてください。
- * アラームをセッティング後、時刻モードをサマータイムに設定した場合でも、アラーム時刻は替わりません。
- * アラーム修正状態で約2分ボタン操作が行わないと、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
- * アラーム修正状態で(M)ボタンを押すとすぐにアラーム通常表示に戻ります。

<スプリット計測の仕方>

- クロノグラフ計測中でも(M)ボタンを押すと、モード切り替えが可能です。再びクロノグラフモードに戻せば、計測の続きを表示することができます。但し、計測が24時間を超えた場合はリセット表示に戻ります。

* スプリットタイムとは：スタート地点からの途中経過時間のことです。

■クロノグラフの使い方



このクロノグラフは1/100秒位まで最大“23時間59分59秒”まで計測表示できます。24時間計測終了後はリセット表示に戻り停止します。また、スプリットタイム（途中経過時間）の計測もできます。

<クロノグラフリセット表示>

(A)ボタンを押して「計測」を開始し、(B)ボタンを押すと「ストップ」になります。スプリットタイムは10秒後に自動的に計測状態に戻ります。

<タイマーの仕方>

- (1) (M)ボタンを押してタイマーモードにします。
- (2) (B)ボタンを押すとセット時間からタイマーがスタートします。
- (3) 計測中に(A)ボタンを押すとストップし、再度(A)ボタンを押すと再スタートします。

* タイマー計測の仕方

- (1) (M)ボタンを押してタイマーモードにします。
- (2) (A)ボタンを押すとスタートし、計測中に(A)ボタンを押すとストップします。(A)ボタンを押す毎にスタート/ストップをくり返します。
- (3) ストップ中に(B)ボタンを押すとリセット表示に戻ります。

<スプリット計測の仕方>

- クロノグラフ計測中でも(M)ボタンを押すと、モード切り替えが可能です。再びクロノグラフモードに戻せば、計測の続きを表示することができます。但し、計測が24時間を超えた場合はリセット表示に戻ります。

* スプリットタイムとは：スタート地点からの途中経過時間のことです。

<タイマー計測の仕方>

- (1) (M)ボタンを押してタイマーモードにします。
- (2) (B)ボタンを約2秒以上押すと、「都市名」と「OnまたはOF」が点滅します。
- (4) (A)ボタンを押して都市の表示(On)または非表示(Off)を選択します。

* タイマーのセッティングは自動的にリセットされます。

(6) (A)ボタンを押して、サマータイムの設定(On)または解除(Off)を選択します。

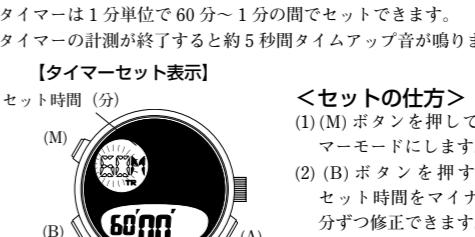
* 他の都市のセッティングも行う場合は、再度(B)ボタンを押すと、他の都市の修正状態になります。順番に同じ操作で各都市の表示／非表示の選択と、サマータイムのセッティングを行ってください。

(7) 各都市のセッティング終了後、(M)ボタンを押して通常表示に戻ります。

* ゾーンセット修正状態で約2分ボタン操作が行われないと、自動的に通常表示に戻ります。

* ゾーンセット通常表示に戻すと、(M)ボタンを押すと、すぐさま表示されます。

■タイマーの使い方



タイマーは1分単位で60分～1分の間にセットできます。タイマーの計測が終了すると約5秒間タイムアップ音が鳴ります。

<セットの仕方>

- (1) (M)ボタンを押して時刻モードまたはカレンダーモードにします。
- (2) (B)ボタンを押す毎にセット時間をマイナス1分ずつ修正できます。(B)ボタンを押し続けると早修正できます。

<タイマー計測の仕方>

- (1) (M)ボタンを押してタイマーモードにします。
- (2) (A)ボタンを押すとセット時間からタイマーがスタートします。
- (3) 計測中に(A)ボタンを押すとストップし、再度(A)ボタンを押すと再スタート